

海軍公報

第千九百三十八號

昭和八年七月二十八日(金)
海軍大臣官房

○辭令

海軍艦政本部造兵監督助手

海軍技手 横田 清綱

海軍技術研究所附ヲ命ス(二十七回海軍省)

○雜款

○特務艦野島行動豫定

地名	着	發
佐世保	七月二十九日	七月二十八日
吳戸崎	八月一日	三十一日
横須賀	八月六日	八月三日
大湊	八月十一日	八月八日
横須賀	八月十八日	八月十五日
佐世保	八月三十日	八月二十七日

○郵便物發送先

海軍公報 第千九百三十八號

昭和八年七月二十八日

七四九

0132

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ヲ指定ヲ要セズ

○七月二十八日午前十時調

【横須賀】日進▲、山城、比叡、▷八雲、磐手

【長浦】富士▲、尻矢

【長浦】桑、楨

呂二〇、呂二一、呂二二、区呂五五、呂五四、呂五六、区呂五九、呂五七、呂五八

【浦賀】(子日)

【館山】椿

【津】区汐風、島風、灘風、夕風

【大湊】大泊

【釧路】駒橋

【吳】矢矧、淺間、勝力

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

区呂二八、呂二六、呂二七

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日

(伊六八)

【大 阪】(掃一三)、(掃一四)、(真鶴)

【徳山】韓崎

佐多、隠戸、襟裳

【舞鶴】吾妻▲

呂三一

(千鳥)

【佐世保】長良、常磐、八重山、出雲

梨、竹、樫、区栗、梅、楡、柿

呂二三、呂二四、呂二五、区呂二九、呂三〇、呂三一、区呂六四、呂六三、呂六八

敷島▲、野島

(初春)

【馬公】五十鈴

区吳竹、若竹、早苗

【鎮海】区蓬、遠▲、蓼

【旅順】区刈萱、朝顔

【大連】平戸

【青島】芙蓉

【上海】区天龍、對馬、堅田、保津

区董、葦、菱

【鎮江】柳

【南京】区檜、檜

【燕湖】比良

【九江】伏見

【漢口】▷安宅、勢多、二見

0133

【大冶】桃
【漢口】 隅田、鳥羽
【長沙】 宇治
【宜昌】 熱海
【廣東】 嵯峨
【作業地】

長門、扶桑、霧島、伊勢、足柄、那智、羽黒、妙高、那珂、川内、木曾、北上、古鷹、大井、龍田、鬼怒、長鯨、龍驤、赤城、多摩、春日、嚴島、白鷹、陸奥、金剛、榛名、日向、阿武隈、名取、由良、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、鳥海、愛宕、高雄、摩耶、青葉、衣笠、加古、神通、球磨、淀
神風、野風、沼風、波風、松風、春風、旗風、朝風、夕風、朝風、追風、疾風、電、雷、響、漣、狹霧、曉、綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、藤、葛、萩、薄、帆風、秋風、太刀風、羽風、水無月、皐月、文月、長月、夕月、菊月、三月、望月、卯月、睦月、如月、彌生、沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲
伊五二、伊五一、呂六二、呂六〇、呂六一、呂六五、呂六六、呂六七、

【航海中】

伊六二、伊六一、伊六四、伊二、伊一、伊五、伊四、伊三、伊二二、伊二四、伊三二、伊二一、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、伊五四、伊五五、伊五三、伊五七、伊五六、伊五八
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、神威、鶴見、室戸、鳴戸、能登呂、間宮、知床、大和

膠州

洲崎 (二十三日「オハ」發—徳山へ)
早鞆 (二十五日「オハ」發—徳山へ)
浦風 (二十六日南京發—港外へ)
葵、夕顔、菊 (二十六日舞鶴發—横須賀へ)
青島 (二十七日佐世保發—馬公へ)

(部内限一頁)

0134

海軍公報

第千九百三十九號

昭和八年七月二十九日(土)
海軍大臣官房

○ 辭令

海軍屬 中本 朝人

第二課附ヲ命ス(七月廿七日海軍省軍務局)

海軍造兵少佐 矢島 彌太郎

在東京首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(七月廿五日海軍艦政本部)

○ 雜款

海軍少佐從六位勳六等大場文衛本月二十五日死去、同二十七日横須賀市長院ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第千九百三十九號 昭和八年七月二十九日

七五三

0135

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○七月二十九日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、比叡、▽八雲、磐手
櫻、□葵、夕顔、菊
富士▲、尻矢

【長浦】

桑、楨
呂二〇、呂二一、呂二二、□呂五五、
呂五四、呂五六、□呂五九、呂五七、
呂五八

【浦賀】

(子日)

【館山】

椿

【大湊】

大泊

【釧路】

駒橋

【吳】

矢矧、勝力

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、

呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

□呂二八、呂二六、呂二七

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日

(伊六八)

【大阪】

(掃一三)、(掃一四)、(眞鶴)

【徳山】

韓崎

【舞鶴】

隠戸、襟裳
吾妻▲
呂三一

【佐世保】

(千鳥)
長良、常磐、八重山、出雲

梨、竹、樵、□栗、梅、楡、柿

呂二三、呂二四、呂二五、□呂二九、

呂三〇、呂三一、□呂六四、呂六三、

敷島▲
呂六八

【馬公】

(初春)
五十鈴

【鎮海】

□吳竹、若竹、早苗

【旅順】

□蓬、蓮▲、蓼

【大連】

平戸

【山海關】

淀

【青島】

芙蓉

【上海】

□天龍、對馬、堅田、保津

【鎮江】

□董、葦、菱

【南京】

□櫻、檜

【燕湖】

比良

【九江】

伏見

【漢口】

勢多

0136

【大治】
【漢口】
【長沙】
【宜昌】
【廣東】
【作業地】

桃
隅田、鳥羽
宇治
熱海
嵯峨
長門、扶桑、霧島、伊勢、足柄、那智、
羽黒、妙高、那珂、川内、木曾、北上、
古鷹、大井、龍田、鬼怒、長鯨、龍驤、
赤城、多摩、春日、嚴島、白鷹、陸奥、
金剛、榛名、日向、阿武隈、名取、
由良、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、
鳥海、愛宕、高雄、摩耶、青葉、衣笠、
加古、神通、球磨
神風、野風、沼風、波風、松風、春風、
旗風、朝風、夕風、朝風、追風、疾風、
雷、響、漣、狹霧、曉、綾波、
浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、藤、
葛、萩、薄、帆風、秋風、太刀風、羽風、
水無月、皐月、文月、長月、夕月、菊月、
三月、望月、卯月、睦月、如月、彌生、
沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧、
天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、
白雲、叢雲、東雲
伊五二、伊五一、呂六二、呂六〇、
呂六一、呂六五、呂六六、呂六七、

【航海中】

膠州
洲崎 (二十三日、オハ) 發—德山(へ)
早鞆 (二十五日、オハ) 發—德山(へ)
浦風 (二十六日南京發—港外(へ))
青島 (二十七日佐世保發—馬公(へ))
安宅、二見 (二十八日漢口發—上海(へ))
淺間 (二十八日吳發—伊豫灘(へ))
野島 (二十八日佐世保發—吳(へ))
佐多 (二十八日德山發—橫須賀(へ))
沙風、島風、灘風、夕風 (二十九日津發—橫須賀(へ))
伊六二、伊六一、伊六四、伊二、伊一、
伊五、伊四、伊三、伊二三、伊二四、
伊三二、伊二一、伊六三、伊五九、
伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、
伊五四、伊五五、伊五三、伊五七、
伊五六、伊五八
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六
神威、鶴見、室戸、鳴戸、能登呂、間宮、
知床、大和

(部内限二頁)

0137

海軍公報

第千九百四十號

海軍大臣官房

昭和八年七月三十一日(月)

○通牒

經豫第一〇一三號

昭和八年七月二十四日

海軍省經理局長

各支出官殿

支出官事務規程第二十條ニ依ル外貨拂

ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ今般大藏大臣ヨリ當省大臣宛左記ノ通牒有之候條此段依命及通牒候

追テ換算率ノ協議ハ從前通ト御承知相成度爲念

記

藏計第五五一號

昭和八年七月十八日

大藏大臣 高橋 是清

海軍大臣 大角岑生殿

外國貨幣等ヲ基礎トスル國庫金ノ出納上換算價格ノ差

異ニ依リ差増減ヲ生ジタル場合ニ於テハ從來一般會計ニ於テ整理シ來リタル處昭和八年度ヨリハ各會計毎ニ區分整理スルコト相成候ニ付之ガ手續別紙ノ通相定メ日本銀行ニ通牒致候條御了知ノ上一般會計ニ屬スルモノニ在リテハ從來ノ如ク大藏省ニ於テ、特別會計ニ屬スルモノニ在リテハ當該特別會計ニ於テ差減ニ付テハ日本銀行ノ請求ヲ俟テ之ガ補填ノ爲資金ヲ交付シ、差増ノ場合ニ於テハ日本銀行ノ通知ヲ俟テ當該會計歲入ニ組入ルルコトニ御取計ヒ相成度此段及通牒候也

貨幣交換差増減整理手續

第一條 外國貨幣、外國貨幣拂爲替券、金銀地金等ヲ基礎トスル國庫金ノ出納上換算價格ノ差異ニ依リ差増減ヲ生ジタルトキハ本手續ニ依リ之ヲ整理スベシ
第二條 日本銀行ニ於テ外國貨幣ヲ基礎トスル各省海外拂經費送金ノ爲爲替取組上生ジタル差増減ニ對シ日本銀行國庫金取扱規程第三十九條ニ依リ之ガ取扱ヲ爲ス場合ニ於テハ

海軍公報 第千九百四十號 昭和八年七月三十一日

七五七

0138

一、差減額ハ振替金トシテ整理シ置キ一般會計ニ基クモノニ付テハ大藏省ニ、特別會計ニ基クモノニ付テハ當該特別會計ニ請求シ資金ノ交付ヲ受ケ之ヲ補填シ

二、差増額ハ一般會計ニ基クモノニ付テハ當該年度大藏省所管大藏省歳入（貨幣交換差増ノ科目、歳入徴收官大藏大臣官房會計課長）へ、特別會計ニ基クモノニ付テハ當該年度、當該特別會計歳入（貨幣交換差増ノ科目、所管大臣ノ指定シタル歳入徴收官）へ納付ノ手續ヲ爲スベシ

第三條 左記各號ニ掲グル差増減ニ付テハ前條ニ準ジ之ガ取扱ヲ爲スベシ

一、外國貨幣、外國貨幣拂爲替券、金銀地金等賣却ノ爲生ズル差増減

二、外國貨幣ヲ以テ受入レタル歳入金ノ拂込又ハ外國貨幣ヲ基礎トスル返納金ニシテ換算率ノ差異ニ依ル差増減

第四條 左記各號ノ場合ニ於テハ大藏大臣ノ通達ニ依リ振替金中「貨幣交換差増」又ハ「貨幣交換差減」ノ内譯科目ヲ設ケ差増差減ヲ區分整理スルモノトス
一、政府海外拂經費ニシテ在外指定預金ヨリ振替ノ

爲差増減ヲ生ジタルトキ
二、在外指定預金、外國貨幣、金銀地金等ノ保有價格引直又ハ國庫内移替ノ爲差増減ヲ生ジタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ年度末ニ於テ各會計毎ニ區分シ一箇年度分ヲ集計シ其ノ結果

一、差減トナリタルトキハ第二條第一號ニ準ジ資金ノ交付ヲ受ケ之ヲ補填シ

二、差増トナリタルトキハ第二條第二號ニ準ジ編入ノ手續ヲ爲シ手續濟ノ上ハ其ノ旨所屬會計ニ報告スベシ

第五條 支出官ニ於テ外國貨幣ヲ基礎トシ小切手ヲ發行スル場合ニ於ケル換算率ハ必要ノ都度之ヲ定ム

○ 辭 令

海軍大佐 岸本 鹿子治

海軍艦政本部第二部長菊野茂特別大演習審判官トシテ出張不在中同職代理ヲ命ス（三十七日）海軍艦政本部長）
鶴岡 英吉

海軍經理學校ニ於ケル游泳術教員囑託ヲ解ク（二十九日）

海軍經理學校)

○雜款

○郵便物發送先

特務艦神威宛

八月三日迄ニ到達見込ノモノハ 館山
其ノ後ハ 横須賀局留置

特務艦榛裳宛

八月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 横濱
其ノ後ハ 吳

○事務所移轉

上海海軍主計科駐在武官事務所ハ本月二十二日左記
移轉セリ

記

上海老靶子路一四一號

豫備役海軍中佐從五位勳四等始關 寛昨三十日卒
去、明八月一日午後二時ヨリ同三時迄東京市世田
ヶ谷區北澤三ノ九〇七自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別
式執行

海軍公報 第千九百四十號 昭和八年七月三十一日

七五九

0140

○艦船所在

▲印(ハホホ)フ
指定ヲ要セズ

○七月三十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、▽八雲
櫻、▽汐風、島風、灘風、夕風
富士▲、尻矢、佐多

【長浦】

桑、楨、▽葵、夕顔、菊
呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、
呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、
呂五八

【浦賀】

(子日)

【館山】

椿

【大湊】

大泊

【釧路】

駒橋

【吳】

矢矧、韓崎、淺間
江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風
呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、
呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、
▽呂二八、▽呂二六、▽呂二七
掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、攝津、朝日、野島

【大阪】

(掃一三)、(掃一四)、(眞鶴)

【佐伯】

勝力

【舞鶴】

隠戸、襟裳
吾妻▲
呂三一

【佐世保】

(千鳥)
長良、常磐、八重山、出雲
梨、竹、樞、▽栗、梅、楡、柿
呂二三、呂二四、呂二五、▽呂二九、
呂三〇、呂三一、▽呂六四、呂六三、
呂六八

【馬公】

五十鈴
(初春)

【鎮海】

▽吳竹、若竹、早苗

【旅順】

▽蓬、蓮▲、蓼

【青島】

芙蓉

【上海】

▽天龍、對馬、保津

【鎮江】

▽董、葦、菱

【南京】

▽柳

【鎮江】

▽柳

【漢口】

▽桐田、鳥羽

海軍公報 第千九百四十號

昭和八年七月三十一日

七六一

0141

【長沙】 宇治
【宜昌】 熱海
【廣東】 嵯峨
【作業地】

長門、扶桑、霧島、伊勢、足柄、那智、羽黒、妙高、那珂、川内、木曾、北上、古鷹、大井、龍田、鬼怒、長鯨、龍驤、赤城、多摩、春日、巖島、白鷹、陸奥、金剛、榛名、日向、阿武隈、名取、由良、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、鳥海、愛宕、高雄、摩耶、青葉、衣笠、加古、神通、球磨、比叡
神風、野風、沼風、波風、松風、春風、旗風、朝風、夕風、朝風、追風、疾風、電、雷、響、漣、狹霧、曉、綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、藤、葛、萩、薄、帆風、秋風、太刀風、羽風、水無月、皐月、文月、長月、夕月、菊月、三月、望月、卯月、陸月、如月、彌生、沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲
伊五二、伊五一、呂六二、呂六〇、呂六一、呂六五、呂六六、呂六七、伊六二、伊六一、伊六四、伊二、伊一、伊五、伊四、伊三、伊二三、伊二四、

【航海中】

膠州
洲崎 (二十三日「オ」發—徳山—)
早靱 (二十五日「オ」發—徳山—)
青島 (二十七日佐世保發—馬公—)
安宅、二見 (二十八日漢口發—上海—)
勢多 (二十九日漢口發—上海—)
磐手 (三十日横須賀發—佐世保—)
淀 (三十日秦皇島發—作業地—)
平戸 (三十日大連發—下關—)

伊二二、伊二一、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、伊五四、伊五五、伊五三、伊五七、伊五六、伊五八
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、神威、鶴見、室戸、鳴戸、能登呂、間宮、知床、大和

(部内限一頁)